



新型コロナウイルス感染症の影響により、開催が遅れていた各種別の大会も、ようやく8月からスタートいたしました。感染拡大防止が容易ではないという社会状況の中で、「新しい生活様式」に基づいて、安全・安心にサッカーができる環境を確保するため、引き続き感染症対応ガイドラインに沿った中での活動をお願いいたします。また、競技規則の変更の適用も各リーグで始まっております。JFA の HP での映像なども参考にいただきながら、競技規則の適用及び選手のパフォーマンスを最大限引き出すレフリングを目指していただければと思います。今年度計画しておりました審判委員会の研修会などの事業に関して、可能な限りオンラインでの WEB 研修に切り替えて進めてきました。下記に、報告書を記載させていただきます。

【2020年度（公財）北海道サッカー協会強化指定審判員研修会 <報告>】

●2020年5月10日(日)

<講師>

長谷 拓氏「映像判定ディスカッション」

<参加者>

強化指定審判員15名

<研修内容>

※ZOOM を使用し Web での研修

例年であれば各リーグも開幕しているところであるが、「今できることを！」と言うことで事業を変更し、毎月定期的に行うことにした。3シーンの映像をそれぞれのグループにわけディスカッション、考慮事項を元に考え各グループごとに発表し、見解とのすり合わせを行った。初めてのリモート研修であったがグループごとのディスカッションではインストラクターもグループに入ってもらい審判員の考えを引き出してもらうことで、いろいろな気づきを感じたように思います。今後も継続し行っていきたいと思いません。

●2020年6月14日(日)

<講師>

伊東 知哉氏「主審と副審の協力」

岡田 渉 氏「オンライントレーニング」

<参加者>

強化指定審判員17名

<研修内容>

※ZOOM を使用し Web での研修

1シーンの映像を元に主審と副審それぞれが監視しなければいけないこと、その時に行えることなどをグループごとに分けディスカッションを行った。いろいろな意見が出た、また事象以前の出来事を感じることで予防ができる可能性があることを共有した。今後、審判員それぞれの引き出しが多くなるこ

とに期待したい。

後半は、J F A フィットネスインストラクター岡田氏によるオンライントレーニングを行った。公共施設閉鎖や外出自粛の中で今できることと、各自のモチベーションを維持していくため依頼した。主には筋力を落とさないトレーニング中心で正しいフォーム、回数などをオンラインで確認しながら行えたのがよかった。

●2020年7月12日(日)

<講師>

伊藤 真也氏「第4審判として行うこと」

岡田 渉氏「オンライントレーニング」

<参加者>

強化指定審判員12名

<研修内容>

※ZOOMを使用しwebでの研修

第4審判として行うこと、試合前・試合中に分け画面共有で資料を見ながら説明と審判員から考えを引き出しながら行った。今まで行ってきたことに加え、行わなければいけないこと、優先順位など今後の試合にしっかり生かせるよう再確認した。

後半は岡田氏のオンライントレーニングを実施。今回は少し動きを入れた軽いステップ系を実施。8月23日開幕に向けたオンライントレーニングを実施していただいた。

●2020年8月13日(木)

<講師>

長谷 拓氏「負傷者の対応」

<参加者>

強化指定審判員13名

<研修内容>

※ZOOMを使用しWebでの研修

「負傷者の対応」と言うことで、負傷者に対する心象、軽症、重症をそれぞれ審判員から意見を引き出しながら行い、対応については映像を用いてどのようなことに気づき対応していくのかをディスカッション形式を行い、行わなければいけないこと、気をつけることを整理し、試合を止めるのか、続けるのかを再確認した。また頭部の負傷に関して改めて確認も行った。

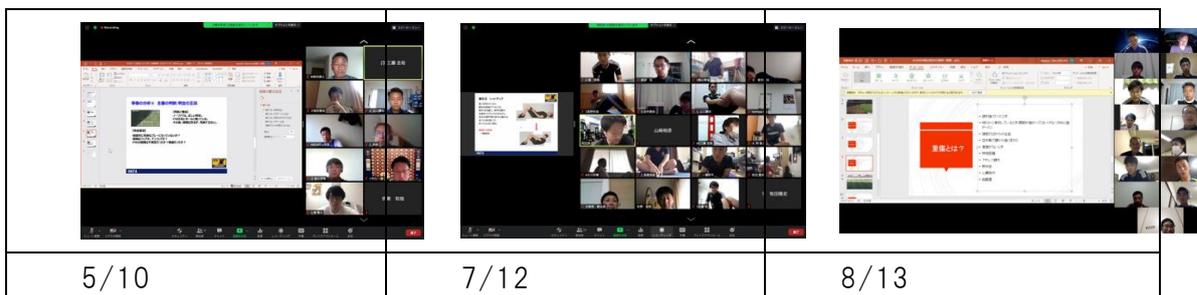
<参加者コメント>

今回の強化研修会では、負傷の対応についての講義をリモートで受けさせていただきました。まず負傷の対応についての確認をし、軽度の負傷や重度の負傷の具体的な例を参加している審判員の皆さんで意見を出し合うことで、試合に臨むときの引き出しを増やす作業を行いました。

具体的な負傷の例を、実際にその場面に遭遇した審判員の方から経験を共有していただくことで自らの試合での引き出しにすることができたことは非常に身になったと思います。また、頭の負傷や要因が分からないが突然倒れてしまった選手などは命に関わることもある負傷なので即刻試合を停止する必要があることを学びました。負傷の軽度・重度の線引きは講義を受けてきたことがなかったので、皆さんの意見との擦り合わせは非常に良い経験になりました。ありがとうございました。

<参加者コメント>

今回の研修は「負傷者」というキーワードをテーマに研修を行いました。
負傷者が出てしまった時のレフェリーの心情や、軽傷と重症の区別とは?など、徐々に話を細分化していき、負傷してしまった競技者の対応について理解を深めていきました。
講師の長谷さんが私達受講生に問いを投げかけてくださるような形で研修は進行し、互いに思った意見を言い、まず多く意見を出すことが求められました。近い世代の皆様と、経験豊富な講師の方々から様々な意見を頂き、「競技者の安心安全」という我々が最も配慮しなければいけない点について学びを深めることができました。
今後もこのような活動で得た知識を、ピッチ上で選手の為に体现できるよう日々努力したいと感じました。



<その他の実施活動>

■強化担当インストラクター研修(アナリシス)

映像判定のインストラクター研修に強化審判員も参加しグループディスカッションし、各グループの発表を行い、最後に見解のすり合わせを行う。指導者部と強化部の合同の Web 研修(毎月月末)

■競技規則改正説明会

昨年も行った ZOOM を使用した競技規則改正説明会を2日間開催。
講師:山崎 裕彦氏(7/29)、村山 尚哉氏(7/30)